

武蔵野大学学術機関リポジトリ Musashino University Academic Institutional Repository

武蔵野教育學論集第2号 : 目次, 扉, 執筆要項, 奥付

雑誌名	武蔵野教育學論集
号	2
発行年	2017-08-15
URL	http://id.nii.ac.jp/1419/00000612/

武蔵野 教育学論集

第 2 号 目 次

昭和 20 年代に始まる「こども銀行」に関する研究 —総合的な学習の時間ならびに特別活動との関連—	上 岡 学	1
学生による子供の歌指導案の考察 (1)	市 川 礼 子・小 島 弥寧子・駒 宮 典 子・ 鈴 木 真 理・高 橋 一 行・田中 ケアリー・原 牧 人	13
造形制作活動における意識と身体 (1) —沈黙することで現れる主体性、木村素衛の表現論に導かれながら—	生 井 亮 司	21
本学学生の音楽の基礎知識について—第 1 回目の調査による—	伊 坪 千 恵・ 小佐野 実 穂・北 谷 久美子・櫻 井 佐多子・古 市 ゆり子・高 牧 恵 里	29
生活科教育と理科教育との関連性に関する一考察	叶 雅 之	39
明治時代語の一考察 —言文一致と標準語教育と新聞の文体の関係を中心に—	杉 崎 夏 夫	47
野外地層観察学習の実践的指導力を身につけるための教育実践 —理科教員養成課程における野外地層観察学習の取り組み—	高 橋 典 嗣	57
主体的・対話的で深い学びを進めるための指導法の研究 —小学校国語科の指導を中心として—	山 崎 淳	69
「フェイス」の概念の小学校英語教育への援用 —英語学習意欲の促進要因の分析—	櫻 井 千佳子	77
『少年の日の思い出』作品論に関する一考察 —作品構造と語りを中心に—	初 谷 和 行	91
大学通信制の教員養成課程におけるスクーリングの学習成果 —健康体育科目「ウェルネス」の実践を通して—	井 上 望・川 上 暁 子	99
共生社会を目指した造形プログラムの開発	大 杉 健	111
保育及び児童教育に要する声から歌唱への実践と導き (その 1)	市 川 礼 子・駒 宮 典 子・土 田 朋 子	123
次期学習指導要領における理科教育の改善点と課題	野 中 繁	131
小学校理科に関する児童の関心・意欲・態度についての考察 —理科に関する児童の実態調査から—	樋 口 昇	141
◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆		
半紙を用いた古典臨書から創作への展開 —高野切第三種を題材として—	新 倉 承 子	160
田無神社・弘化二年銘「石盥」考 —一刻された書の美の考察を中心として—	廣 瀬 裕 之	172

武蔵野教育学論集 第二号 (2017)

武蔵野大学教育学研究所

THE BULLETIN OF MUSASHINO UNIVERSITY

Faculty of Education

No. 2

CONTENTS

A Study of “Child Bank” in Japan (about 1945s~1950s) —In Relation to Period for Integrated Studies and Extra-curricular Activities—	UEOKA Manabu	1
An Examination of the Students’ Teaching Plans on Children’s Songs (1) ICHIKAWA Reiko / KOJIMA Mineko / KOMAMIYA Noriko / SUZUKI Mari / TAKAHASHI Kazuyuki / TANAKA Carrie / HARA Makito		13
Consciousness and Body in Art Working (1) Individuality that Appears by Silence, While Led by Kimura’s Expression Theory	NAMAI Ryoji	21
On the Students’ Basic Knowledge of Music in Our School: Based on the First Survey ITSUBO Chie / OSANO Miho / KITATANI Kumiko / SAKURAI Satako / FURUICHI Yuriko / TAKAMAKI Eri		29
A Study on Relationship between Living Environment Studies and Science Education	KANO Masayuki	39
A Study of Meiji Era Japanese Language: The Correlation amongst Vernacularizing Written Language, Educational Policy of Standard Japanese and News Writing Styles	SUGISAKI Natsuo	47
Educational Exercise on Gaining Practical Teaching Skills for Geological Strata Field Observational Learning —Training Program for Science Teachers to Conduct Geological Strata Field Observational Learning—	TAKAHASHI Noritsugu	57
A study of the Teaching Method for Promoting “Active Learning” —Mainly to Teaching Japanese in Elementary School—	YAMAZAKI Atsushi	69
Incorporation of the Concept of “Face” into English Language Education in Elementary Schools: An Analysis of Promotional Factors in Motivation toward English Language Learning	SAKURAI Chikako	77
A Study of “Jugendgedenken” by Hermann Hesse —Focus on Literary Structure and Narrator—	HATSUGAI Kazuyuki	91
Learning Outcomes of in-Person Class in Teacher Training Course of Online University —A Case Study of Health Physical Education Class ‘Wellness’—	INOUE Nozomu / KAWAKAMI Akiko	99
Development of Several Art Programs Aiming at Symbiosis Society	OHSUGI Takeshi	111
Practice and Guidance to Sublimate from Voice Required for Nursing and Education of Children to Singing No.1	ICHIKAWA Reiko / KOMAMIYA Noriko / TSUCHIDA Tomoko	123
Improvements and Assignments of Science Education in New Course of Study	NONAKA Shigeru	131
Consideration about the Interest of the Child, the Will and the Attitude about the Elementary School Science —From Child’s Actual Condition Survey about Science—	HIGUCHI Noboru	141
◆◆◆ ◆◆◆		
A Creation from “Koten Rinsho” Using “Hanshi” —Based on “Kouyagire Daisanshu”—	NIIKURA Seiko	160
A Study of <i>Sekikan</i> (Hand washing tank made of stone) Donated to Tanashi Jinja (Shrine) in 1845 —Focusing on Consideration of Beauty of Engraved Letters	HIROSE Hiroyuki	172

武蔵野教育学論集執筆要項

2013 年 10 月 10 日制定

2016 年 7 月 14 日改正

1 内容

- (1) 教育及び教職研究に関する学術論文
- (2) 教育学部所属教員の専門に関する学術論文
- (3) その他、編集委員会が認めたもの

2 投稿資格

学術論文に投稿できる者は、以下の者とする。

- (1) 教職研究センター員及び客員研究員
- (2) 教育学部専任教員
- (3) (1) または (2) を含む共同研究の場合は、他所属の研究者の執筆も可
- (4) 教職研究センターから依頼したもの
- (5) 大学院生
- (6) その他、編集委員会が認めた者

3 倫理規定

執筆に際しては他人の著作権の侵害、名誉毀損、データの捏造、人権の侵害等の問題を生じないように十分に配慮しなければならない。倫理的な配慮が必要とされる学術論文等については、投稿者が所属する機関等の「倫理審査委員会」で承認を得たものに限り、学術論文等の中において、その旨を明記しなければならない。なお、万一掲載された執筆内容が他者の著作権を侵害したと認められた場合、投稿者がその一切の責任を負うものとする。

4 公開

印刷冊子、および、武蔵野大学のホームページ上等で電子データとして公開する。

5 投稿方法

- (1) 投稿を希望する者は、指定された期日までに所定の「武蔵野大学教職研究センター紀要投稿申込書」を提出しなければならない。
- (2) 原稿は、指定された期日までに所定の書式で作成した完成原稿（紙面に打ち出したもの）とそのデータを提出しなければならない。
- (3) 写真や図表は鮮明なものを使用し、完成原稿中にその位置を明示すること。

6 投稿規定

- (1) 原稿は未発表のものに限る。
- (2) 原稿は 1 人 1 編に限る。但し、共同研究に関しては、編集委員会で審議する。
- (3) 原稿は、横書き及び縦書き両方可とし、題目に英訳を併記すること。
- (4) 字数等

① 字数

16,000 字（注、図表、写真、その他、を含む）以内を原則とする。

*横書きの書式は、1 ページ 43 字×38 行とする。

*縦書きの書式は、1 ページ 30 字×25 行の 2 段組とする

*図表、写真は適宜文字数に換算する。

*図表、写真などが多いため他の原稿と比べて著しく費用がかかる場合、編集委員会は執筆者に負担を求めることが出来る。

②用語及び文体等

現代仮名遣いを原則とする。外国語を仮名書きにする場合は、カタカナとする。

③引用

引用や文献の参照については、細かく引用符や注を付け、剽窃を疑われないように細心の注意を払い、文献一覧のみではなく、引用・参照ページ等を特定できるようにしなければならない。引用書式については、個々の専門分野の学会誌などで使われているものに従う。

④見出し

*横書きの場合、見出しに章や節は使用せず、番号をつける場合は、アラビア数字（1、2、3等）かローマ数字（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ等）を使用する。

*縦書きの場合、見出しに章や節は使用せず、番号をつける場合は、漢数字（一、二、三等）を使用することを原則とする。

⑤注

*横書きの場合、注番号は1, 2, 3等の上付きとする。

例：【正】●●●●¹。

*縦書きの場合、注番号は1, 2, 3等の数字をその該当部分（右横）にカッコをつけて記載する。

*注は必要最小限にとどめ、多くならないようにする。

(5) 校正

原稿は完成原稿を提出するものとし、校正段階では最小限の字句の訂正にとどめるものとする。校正は原則として執筆者が行い、校正済みの原稿は、編集委員会が指定した期日までに必ず返却しなければならない。

7 掲載の採否・順序等

(1) 掲載の採否は、編集委員会が決定する。

(2) 編集委員会は、原稿の書き直しを求めることが出来る。

(3) 掲載順序などの編集は編集委員会が行う。

(4) 査読規定については、別に定める

(5) 執筆者には、紀要5部、別刷20部を無償で配布する。共同研究の場合も各執筆者に別刷20部ずつを無償で配布することを原則とする。それ以上の部数を希望する場合は、必要部数をあらかじめ編集委員会に申し込まなければならない。その場合、超過部数に関わる費用は執筆者の負担とする。

8 口絵として研究作品写真を掲載することができる。

(1) 研究作品は、原則としてその年度内に制作（展覧会等での発表を含む）したものとする。

(2) 研究作品の題名・制作年などを記し、鮮明な画像（写真又はデータ）を提出するものとする。

(3) 掲載の採否及び順序は、編集委員会が決定する。

9 その他

その他の事項については、編集委員会で決定する。

武蔵野教育学論集 第2号

2017年8月15日発行

編 集 武蔵野教育学論集編集委員会

発 行 武蔵野大学教育学研究所

〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20

電話 042-468-3290

印 刷 株式会社 多摩ディグ

〒184-0012 東京都小金井市中町2-19-31

電話 042-384-2491
